

○ 教育課程は、どう変わるのか。

新学習指導要領による教育課程における社会科の授業時数は次の表の通りとなる。

学 年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	合 計
現	70	85	90	100	345
新	70	90	100	105	365
増 減	0	+5	+10	+5	+20

○ 目標は、どう変わるのか。

(社会科の目標)

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

※ 教科の目標の趣旨は現行どおりとしているが、教育基本法の規定を踏まえて、これまでの「民主的、平和的な（国家及び社会の形成者）」を「平和で民主的な（国家及び社会の形成者）」と改めた。

(各学年の目標)

1 改善の視点

- 児童が社会生活や我が国の国土に対する理解と自然災害の防止の重要性についての関心を深めることができるようにすること。
- 基礎的・基本的な知識・技能を活用し、学習問題を追究・解決することができるようにするために、各学年の段階に応じて、観察、調査したり、地図や地球儀、統計、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用したり、社会的事象の意味や働きなどについて考え、表現したりする力を育てること。

これらを受けて、各学年の目標をこれまでのように理解・態度・能力の三つの側面から構成し、それらを統一的に育成することを目指して、改善を図った。

2 第3学年及び第4学年の目標の改善点

- (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。

- ・ 地域の人々の健康な生活を守るための諸活動の理解に関する目標については、新たに「良好な生活環境」を加えた。

- ・ 目標の(2)は基本的に従前の趣旨を継承しており、文言も変わっていない。

(3) 地域における社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力，**調べたことや考えたことを表現する力を育てるようになる。**

- ・ 能力に関する目標については，これまでの「調べたこと」に「考えたこと」を加え，「考えたことを表現する」ことを一層重視した。

3 第5学年の目標の改善点

(1) 我が国の国土の様子，**国土の環境と**国民生活との関連について理解できるようにし，環境の保全や**自然災害の防止の**重要性について関心を深め，国土に対する愛情を育てるようになる。

(2) 我が国の産業の様子，産業と国民生活との関連について理解できるようにし，我が国の産業の発展や**社会の情報化の進展に**関心をもつようになる。

- ・ 理解と態度に関する目標について，これまでの目標の(2)を(1)に，目標の(1)を(2)に，それぞれ改めた。
- ・ 我が国の国土の様子と国民生活との関連の理解と態度に関する目標については，新たに「国土の環境と国民生活との関連(について理解できるようにし)」と「自然災害の防止(の重要性について関心を深める)」を加えた。また，我が国の産業の様子と国民生活との関連の理解と態度に関する目標については，新たに「社会の情報化の進展(に関心をもつようになる)」を加えた。

(3) 社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や**地球儀**，統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味について考える力，調べたことや**考えたことを表現する力**を育てるようになる。

- ・ 能力に関する目標については，新たに「地球儀(を効果的に活用し)」を加えるとともに，これまでの「調べたこと」に「考えたこと」を加え，他の学年と同様に「考えたことを表現する」ことを一層重視した。

4 第6学年の目標の改善点

- ・ 目標の(1)及び(2)は基本的に従前の趣旨を継承しており，文言も変わっていない。

(3) 社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や**地球儀**，年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味をより広い視野から考える力，調べたことや**考えたことを表現する力**を育てるようになる。

- ・ 能力に関する目標については，新たに「地球儀(を効果的に活用し)」を加えるとともに，これまでの「調べたこと」に「考えたこと」を加え，他の学年と同様に「考えたことを表現する」ことを一層重視した。